



日系学士会 (AUN)

日系コーラス

**Coro Nikkei**

**de la Asociación Universitaria Nikkei**

## 日系学士会について

日系学士会（AUN）は、非営利団体です。団体の目的は、初期の1989年から日系社会における友好の絆と連帯及び日本文化の普及に関する活動の展開に集中してきました。

展開された活動の中から以下があげられます。

- 一般社会を対象とした活動：
  1. 日系人造形芸術家の展示会・展覧会
  2. アルゼンチン人及び日本人講師による講演会
  3. 物語コンテスト
  4. コンサート
  
- 日系社会を対象とした活動：
  1. 育成講座
  2. 懇親会
  
- 商品：
  1. “La otra inmigración”（「もう一方の移民」）本冊・ビデオ
  2. “Cuadernos de AUN”（「AUNノート」）誌

1991年に学士会のコーラスが形成されました。

2001年より日系社会高齢者を対象とした「将来のよりよい生活質」プロジェクトに協力するボランティアグループが形成されました。



## 日系コーラスについて

1991年に「AUNコーラス」が形成されました。アカペラ四声コーラスで、主に日系社会メンバーから成り、学司会の会員が多いです。

音楽を通してアルゼンチンに移住してきた親や祖父母の文化を共有することが当初の目的であり、今でも変わらないでいます。

テレサ・イササ氏の指揮の下に活動を開始しました。2002年にグスタボ・ヒメネス氏が指揮を担当し、エリサベツ・グディニョ・カルモナ（2002年～2009年）、カルロス・エルメ（2002年～2006年）、ルカス・エチャニス（2006年～2010年）、アウグスト・パソ（2010年）が補佐しました。

## レパートリー

伝統的な曲だけでなく現代的な曲、日本の曲及びアルゼンチンやラテンアメリカの曲を演奏し、雰囲気やリズム豊富なレパートリーによって文化を繋げます。

ヒメネス氏がアレンジされた二ヶ国語の曲（タンゴや民謡曲）の演奏も顕著です。それらの曲は聴衆にアルゼンチン文化と日本文化の繋がりをよりよく実感させます。



## 指揮者：グスタボ・ヒメネス

アルゼンチンカトリック大学で作曲学をロベルト・カアマニョ、ヘラルド・ガンディニ、カルロス・ガンディニ、カルロス・スフェルン、ポラ・スアレス・ウルテウベイとマルタ・ランベルティニ等の先生方、フアン・ホセ・カストロ音楽院で合唱指揮をアントニオ・ルソ、そして管弦楽団指揮をギジェルモ・スカラビノの各氏に師事。

教授としても活躍している。1983年～1991年：生まれ故郷であるブエノスアイレス州フニン市の州立フニン音楽院で和声学と対位法の教授として活躍し、同音楽院で Orquesta Académica del Noroeste bonaerense 音楽団を結成。



合唱作品の作曲家として、サンタフェ州ガルベス市の第1回国際コンクール(1983年)、そしてアエド市が主催された第1回土着リズム作品コンクール(1984年)でマヌエル・ホセ・カスティジャ作の詩に曲をつけ、受賞。2011年に建国200周年記念を機にタンゴ、ミロンガ、ワルツ、カンドンベのリズムが楽しめる「ミサ・ポルテーニャ」を作曲。ヒメネス氏が作曲された作品はコロン劇場のゴールドホール、中央郵便局、アルゼンチンカトリック大学芸術音楽学部など、ブエノスアイレス市の主要ホール、そしてアルゼンチンや外国のホールでも演奏されてきた。

著名作曲家による養成研修に参加。オスカル・カストロ氏（ブエノスアイレス大学主催夏季研修で交響・合唱作品準備）、インターナショナル・バッハ・アカデミー（シュトゥットガルト）のヘルムート・リリング氏、ハンス・ピーター・シュールスとヴェルナー・プファフ（ドイツ）、ポール・サラムノビッチ氏（ロスアンジェルス・マスター・コラール指揮者）、アルベルト・グラウ（ベネズエラ）、ラテンアメリカ民謡ジャンルと合唱編曲への適用をエドゥアルド・コレアに師事。

現在、CEMIC、New CEMIC、Coral El Aleph、UOCRA財団のコーラス、及び日系学士会の日系コーラスを指揮している。

詳しい情報は、指揮者のホームページをご参照。

<http://www.gustavo-gimenez.com.ar>

## 日系コーラス公演



演奏会から以下があげられます。

(1997年) コルドバ州プロスペロ・モリナ民俗公園でのコスキン市移民祭、  
(1999年) サンタフェ州ロサリオ市役所でのロサリオ日本人会50周年記念、  
(1999年) ペルー、リマ市でのペルー文化センターと神内先駆者高齢者レクレーションセンター、  
(2000年) ミシ

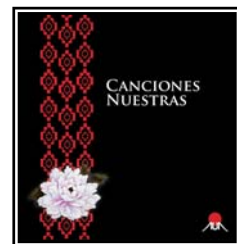
オネス州オペラ市移民際、  
(2006年) ブエノスアイレス市で日亜学院コーラスと日系コーラス主催の「我が祖父母に捧げるコーラス大会」に在アルゼンチン沖縄県人連合会 (COA)、  
(2006年) ブエノスアイレス市庁ゴールデンホールでのアルゼンチン・ブラジルコーラス大会、  
(2008年) アルゼンチン沖縄県移民100周年記念コンサート、  
(2008年) ブラジル、サンパウロ市におけるブラジル日本移民100周年記念、  
(2008年) ブエノスアイレス市大統領府博物館にて博物館ナイトコンサート、  
(2009年) レコレータ文化センターでARRORROプロジェクト、オーストリアのリンツとネットで接続、  
(2010年) ボリビア、サンタ・クルス・デ・ラ・シエラ州サンフアン日本人移住地とラパス州ラパス日本人会、  
(2011年) サンタフェ州ロサリオ市第6回全国日本文化大会、  
(2012年) ブエノスアイレス市弁護士連合会主催「移民コーラスコンクール」で準優勝、  
(2013年) 第17回パンアメリカン日系人大会 (COPANI) 参加、  
(2013年) ブエノスアイレス市弁護士連合会主催「移民コーラスコンクール」で優勝、等。

## 収録

不断のライブ演奏の他、日系コーラスは、CDの録音に参加しました。2008年のサンパウロにおける日本移民100周年記念式典への招待を機に “**CANCIONES NUESTRAS (我々の歌)**” 初のCDを録音しました。

アルゼンチンと日本の伝統的な曲や近代的な曲でコーラスのアイデンティティを反映する多彩なレパートリーを形成するため、新曲を準備しました。CDの裏面に書かれているように、

「アルゼンチン人、そして日本人子孫としての我々を描き、我々を語り、心を込めて歌っている曲です。これらが我々の歌です。」



## 海外ツアー

コーラス大会やイベントや特別式典等に参加するために海外ツアーをしました。1997年にコルドバ州コスキン市で主催された移民祭や2000年にミシオネス州オベラ市で主催された移民祭等に参加しました。

アルゼンチン国内だけではなく、1999年にペルーのリマ日本人会高齢者福祉センターでもコンサートを実施しました。2008年にサンパウロ市に3回の公演でブラジルにおける日本移民100周年記念関連イベントに参加しました。そして、2010年10月にはサンタ・クルス・デ・ラ・シエラ市とラパス市で様々な日系機関で演奏するためにボリビアへ行きました。



## コーラスのウェブサイト

2008年に <http://www.coronikkei.com.ar> のウェブサイトが作成されました。  
2014年に <http://coronikkei.wordpress.com> のウェブサイトが作成されました。



今後の公演予定の時間、住所、それから場合によっては主催者の情報とそのホームページも見られます。また、その年の公演の記録とそれ以前の公演へのリンクが掲載されています。

コーラスと指揮者と団員の概要も掲載されています。

マルチメディアのリンクでは、出演の写真や映像がご覧できます上、CDの曲の一部をダウンロードできます。

最後にコーラスの問合せ先と友好サイトとコーラスのプロジェクトを支援してくださっている機関へのリンクが掲載されています。